

校長 だ よ り

兵庫県立伊川谷高等学校

May11th, 2022

1 学年「総合的な探究」、2 学年「コミュニケーション応用」の取組

★出会いによって心が動く体験を

○5月10日(火)6限の「総合的な探究の時間」を活用し、「学問を知る」というテーマのもと、外部講師を招いて1年生を対象に進路学習を行いました。当日は、1年生徒が、22の学問分野のうち、2つを選んで大学や専門学校からお招きした講師の説明を聞きました。

○希望生徒の多かった分野ベスト10は、ゲーム(54名)、美容(44名)、アニメ・マンガ学(42名)、ファッション(37名)、スポーツ(31名)、看護学(25名)、心理学(24名)、製菓・製パン(23名)、保育・児童学(22名)、経済学(19名)でした。

○講師の先生方には、各分野の魅力や可能性について、生き生きと説明していただきました。講師の先生方の熱気ある説明に生徒の心が動いていると感ぜられる場面もいくつかありました。

○生徒の皆さんが、将来の夢やなりたい自分をイメージし、それを具体化し、目標として設定してすすんでいてもらいたいと強く思います。

○一方、「今後10~20年で、今ある仕事の約半分がAIにとってかわられる。」といった言葉の流布、成長が見込みづらい日本経済、終わりが見通せないコロナ禍と、生徒の皆さんが将来に希望や夢を持つことが難しい状況です。

○また、やりたいことと職業との関連性の強い「専門職」の割合は全職業の20%に満たず、将来、多くの生徒は、自分の小さいときからの夢や好きなこととは直接には関係しない職業に就くこととなります。

○生徒の皆さんには、「将来何になりたいか」、とともに「どんな生き方を大切にする大人でありたいか」、「どんなスキルを身につけた大人でありたいか」、を考える機会を増やすことができたいと思います。

○今回の企画は、生徒の皆さんが様々な学問を知るとともにその学問について熱く語る大人の空気感などを知ることができる貴重な機会になったように思います。



ロボット分野



国際関係学分野

○5月6日(金)に2学年「コミュニケーション応用」の授業に神戸学院大学経済学部の関谷次博教授と6名のゼミ生に参加していただきました。

○本校と神戸学院大学とは、平成30年3月より教育提携を結び、相互に交流してきました。

○当日は、本校生徒が各グループに分かれて課題研究のテーマ設定の話し合いをする予定でしたが、その話し合いに学生6名がアドバイザーとして参加してくれました。関谷教授のお話によれば、本校を訪れる前に、ゼミの学生たちも研究論文のテーマ設定の仕方について、大学で指導を受けていたとのことでした。

○学生たちのアドバイスが、本校生徒たちの心に届いてくれればと思います。それとともに学生たちが、生徒たちの近い将来の生き方のよいモデルとなることを期待しています。

